

令和6年10月31日(木)

# 第4期 福井県教育振興基本計画

## 骨子案

福井県教育委員会



## 1 計画策定の趣旨

- ・2020年3月策定の「福井県教育振興基本計画(第3期)」が2025年3月末に期間満了
- ・本県では、社会環境の変化等を踏まえ、「教育に関する大綱」を2024年10月に改定
- ・現計画の成果と課題を検証し、今後の目指すべき教育像とその実現に向けた教育政策の方向性を定める「福井県教育振興基本計画(第4期)」を策定する

## 2 計画の位置付け

- ・「教育に関する大綱」の行動計画であるとともに、教育基本法第17条第2項の規定に基づき定める本県教育の振興のための施策に関する基本的な計画
- ・「福井県長期ビジョン(2020年～2040年)」の教育分野に関する個別計画の性格を有する

## 3 計画の期間

- ・令和7(2025)年度～令和11(2029)年度(5年間)

## 第2章 教育に関する大綱(R6.10.28改定)①

### 基本理念

『一人ひとりの個性が輝く、ふくいの未来を担う人づくり

～**子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進**～』

こどものために  
アクション!

(現行:『一人一人の個性が輝く、ふくいの未来を担う人づくり ～ 子どもたちの「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進 ～』)

### 概要

- ・本県では、全国に先駆けて一人一台のタブレット端末を配備し、子どもたちの主体的で協働的な学びに繋げるとともに、探究学習・プレゼンテーション教育など、これからの時代に必要な資質・能力の育成、新たな学科・コースの創設など県立高校の魅力化を推進
- ・一方、この間、新型コロナウイルス感染症によるライフスタイルの変容、少子化の加速、価値観の多様化、デジタル技術の急速な進化など、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化
- ・「福井県長期ビジョン」の策定、北陸新幹線の県内開業などにより、「ふくいの未来」に明るい展望が開けてきた今こそ、本県の将来を担う子どもたちが、「夢と希望」を持ち、個性を發揮しながら人生を切り拓いていくチャンス
- ・「地域社会をもっと良くしたい」という志を持ち、自分らしく生きるために、**基礎的な知識・技能の習得に加え、地域をより深く学び、多様な人々と協働しながら、自らの可能性に挑戦し未来を切り拓いていく「生きる力」を育成することが不可欠**
- ・子ども一人ひとりの個性を「引き出す教育」、探究心を持ち学びを「楽しむ教育」、郷土の歴史、自然、文化、人々等とつながり学ぶ「ふるさと教育」を進め、子ども一人ひとりを大切にする**「子どもが主役の教育」を推進**
- ・教職員が子どもと共に学び続ける伴走者として誇りをもって働くことができるよう、働きがいと働きやすさを両立する**「働き方改革」を実行**

### 目指す人物像

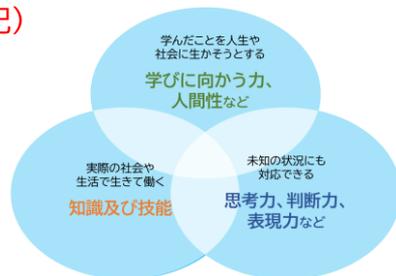
【現行】

【見直し案】

- |                                    |   |
|------------------------------------|---|
| ① 自らの個性を發揮し、人生を切り拓くために挑戦し続ける人      | ⇒個性を發揮し、 <b>自らが思い描く</b> 人生を切り拓くために挑戦し続ける人 |
| ② 多様な人々の存在を認め、協働して新たな価値を生み出す人      | ⇒(変更なし)                                   |
| ③ ふるさとや自然を愛し、いつでもどこにいても社会や地域に貢献する人 | ⇒(変更なし)                                   |

変更目的 将来の夢やより良いキャリア・生き方を自ら考え、主体的に選び取る、自らが主役となって社会を創造する人材を育成

### 伸ばすべき力 (新たに明記)



「学びの三要素」

学習指導要領の「**学びの三要素**」をバランス良く育みながら、

- ・思考と行動の基礎となる**学力・体力**
- ・好奇心を持って学びを深める**探究力**
- ・他者と協働するための**共感力・対話力**
- ・ふるさとの未来と自らの将来を思い描く**キャリア形成力**
- ・成長を続けるための**挑戦力** を重点的に育成

## 基本的な施策の方向性

### 1 自らと福井の将来につなげる学びの推進

#### ○確かな学力と探究力の育成

- ・少人数指導、最先端のデジタル技術等を活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ・「探究学習」の拡充、サイエンス教育等「得意を見つけ伸ばす教育」の推進

#### ○豊かな心と健やかな体の育成

- ・道徳教育、人権教育、特別活動、体験学習、地域貢献活動、読書活動の充実
- ・自己肯定感を高め、仲間の良さを認め合う心の育成
- ・自然体験等を通じてたくましさや社会性を育む「アウトドア教育」の推進
- ・運動習慣の定着、健康教育・食育の推進による健やかな体の育成

#### ○多様な人々と協働する力の育成

- ・相手に共感し、考えをわかりやすく伝える「プレゼンテーション教育」の充実
- ・国際社会で活躍するための語学力向上、「グローバル教育」の展開

#### ○ふるさとの未来と自らの将来を思い描く力の育成

- ・「地域の未来」を構想し、自分の将来を選び取る「ふるさと教育」の充実
- ・将来や生き方を考える機会を提供する「ライフデザイン教育」の推進
- ・将来のUターンを含めた「地元就職・地元進学」の意識醸成

#### ○幼小中高大のトータル教育の推進

- ・人格形成の基礎を培う幼児教育の更なる充実、小中高の連携・接続強化
- ・高校において、県内大学・企業・団体と連携した探究的な学習を拡充

### 2 誰一人取り残されず、個性が尊重される学びの推進

#### ○安心して学べる場の充実

- ・子どもが安心して過ごせる居場所をつくる「校内サポートルーム」の拡充
- ・民間事業者が行うフリースクール等と連携した学びの機会の確保
- ・「チーム学校」で取り組むいじめ・不登校対策

#### ○特別支援教育の推進

- ・特別支援学校が地域とつながり交流するインクルーシブ教育の推進
- ・支援体制の充実、地域・社会と連携した就学先決定と就労支援
- ・教員の障がいに対する理解促進、ICTを活用した学習の推進など、子どもの特性に応じた学びを充実

#### ○医療・福祉分野との連携強化

- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、医療・福祉サービスへ迅速に接続する体制づくりを推進

### 3 人生を楽しく豊かにする学びの推進

#### ○生涯学習の振興

- ・社会教育団体の活性化の相互連携の支援、県民への学習機会・情報の提供により、すべての世代にさまざまな学びの機会を確保
- ・図書館、こども歴史文化館、青年の家など県内社会教育施設の機能充実

#### ○文化芸術・スポーツ活動の充実

- ・地域スポーツクラブ等との連携強化による部活動地域移行の推進など、持続可能な形で子どもの文化・スポーツ活動の充実・強化
- ・次世代の文化芸術・スポーツを担う人材育成の推進

#### ○家庭や地域と一体となった教育力の向上

- ・地域住民による学校運営支援員や、「放課後児童クラブ」等の充実など地域の教育力向上
- ・子育て相談体制・情報発信を強化するとともに、保護者同士が悩みを共有し学び合う機会を充実し、「子どもとともに成長する楽しさ」を拡大

## 基本となる環境づくり

#### ○「ふくい教育」の魅力発信

- ・教職の魅力、教員の創意工夫、今の「学びの様子」を発信
- ・教員の自己肯定感とやりがい高め、教職を目指す人材確保を推進

#### ○教職員一人ひとりを大切にする「働き方改革」の推進

- ・教員が子どもと向き合えるよう、更なる学校業務の簡素化・改善
- ・教職の魅力発信の強化や待遇改善等による教員確保
- ・サポート人材の確保、外部の専門機関等との連携強化
- ・個々の教員に負担や責任が集中しない組織づくり
- ・教員の頑張りや学校の内外部から評価される環境づくり
- ・教員が保護者・地域から信頼されるよう、服務規律の確保を徹底

#### ○特色のある魅力的な学校づくり

- ・空調設置や省エネ化、バリアフリー化等による安全性の向上
- ・教育DXの基盤となるハード・ソフト両面の環境整備
- ・県立高校の学びの特色化などを進め、子どもの適正に応じた多様なキャリア形成を促す学校づくりを推進

# 第3章 教育振興基本計画(案) 概要①

## 方針1 自らと福井の将来につなげる学びの推進

### (1) 確かな学力と探究力の育成

#### ① デジタル技術を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実

・分かりやすく楽しい授業づくりに向けた、指導主事訪問や研修の充実

**新**・授業用・自家用ソフトの積極活用による「**学びの改革**」を推進

**新**・DX等に関する先導的な学びに取り組む学校を支援し、成果を普及

**新**・学習や活動状況などのデータを集約して可視化し、指導等に活用

#### ② 探究学習のさらなる推進

・探究活動の発表や、他校生徒と活動を学び合える機会を充実

・全ての高校で探究学習を推進するリーダー教員を任命

**新**・探究学習において**生徒と地域をつなぐコーディネーター等を配置**

#### ③ 情報活用能力の育成

・情報活用能力やメディアリテラシーを小中高で計画的に育成

・NIE教育研究会と連携し、新聞を活用した授業等を実施

#### ④ 理工系分野への裾野を広げるサイエンス教育の推進

・SSH校の取組成果を教員・生徒に公開し普及

**新**・**科学や工学、芸術等を融合した学びに向けた**体験的な取組みを充実

・女子生徒を対象にキャリア観の育成およびデジタルスキル育成を推進

#### ⑤ 充実した教育に向けた学級運営

・中学校における県独自の32人学級を継続

**新**・複数で子どもを見守る**チーム担任制**の推進

### (2) 豊かな心と健やかな体の育成

#### ① お互いを理解し尊重し合う心を育む学びの推進

・保護者・地域が子どもとともに学ぶ道徳教育の推進

・発達支持的生徒指導としての人権教育の推進

・自己肯定感を高め、多様性を認める心を育むポジティブ教育の推進

・子どもが主体的に意見し、教員と話し合う場の充実

#### ② 自然や文化にふれ、感動する心を育む学びの推進

・県内の伝統文化や多様な文化活動の体験を通じた芸術教育の推進

**拡**・**地域住民を対象にした**読み聞かせ担い手等の養成

**拡**・タブレットでの蔵書検索など**デジタル社会に対応した読書環境の整備**

**拡**・電子書籍や点字図書等を活用した**多様な子どもたちの読書機会の確保**

**拡**・青少年教育施設を活用するとともに**野外教育活動実施団体と連携したアウトドア教育の推進**

・アウトドア教育に高大生等の教育ボランティアの参加を促進

#### ③ 運動を楽しみ体力をつける学びの推進

・スポーツとの多様な関わり方を学ぶ体育の授業の推進

・「はぴりゅうスポーツ広場」など、運動に気軽に楽しむ環境づくり

#### ④ 健康的な生活や食の大切さを知る学びの推進

・学校・家庭・地域専門機関等が連携し、子どもの生活習慣確立を推進

**拡**・地場産食材を使用した**学校給食の充実**

・健康や食の大切さを伝える「ふくいの食育」の推進

### (3) 多様な人々と協働する力の育成

#### ① 自らの考えや念いを伝えるプレゼンテーション教育の推進

・「全国高校生プレゼン甲子園」や小中学校におけるプレゼンテーション大会等、対話力・共感力を育む学びを拡充

・発表機会の充実や「プレゼン講座」の配信など、自らの考えを相手に合わせて適切に表現する力を育成

#### ② グローバル社会で活躍するための学びの推進

・ALTとの交流や、英語ディベート、友好提携都市との交流等により、実践的な英語力を育成

**新**・**海外進学や国際的な活躍に向け、学校の垣根を超えたセミナー等を開催**

・ふくいを英語で発信し、海外研修等で紹介する取組みの実施

・「きぼう応援海外留学奨学金」等を活用し、海外留学を促進

## 第3章 教育振興基本計画(案) 概要②

### (4)ふるさとの未来と自らの将来を思い描く力の育成

#### ①将来や生き方を考えるきっかけをつくるライフデザイン教育の推進

- 拡・将来の夢について考える「**夢へのパスポート**」を高校のキャリア教育へ活用
- 新・ふくいの未来と地域政策を考える「**地域デザイン講座**」の開催
- 新・**県内で活躍する地元OB等と交流する機会を充実**
  - 全職業系高校で、地域産業・企業を学ぶ講座「ふくいの産業」を実施
  - 主権者教育や消費者教育など社会に必要な資質を身に付ける学びの推進
- 拡・**県内進学を希望する生徒に対して、入試対策支援を強化**

#### ②地域を学び、地域の魅力に気付くふるさと教育の推進

- 地域住民等とともに地域課題解決に向けた体験学習を推進
- 拡・他地域との交流促進など、**地元の良さを伝え学ぶ機会を充実**
  - 先人に学ぶ授業や、県出身起業家等との交流の実施
  - 自然観察・里山体験等のプログラムの提供
- 拡・**こども歴史文化館と学校教育の連携強化**

### (5)幼小中高大のトータル教育の推進

#### ①人格形成の基礎となる幼児教育の充実

- 拡・小学校教育との接続カリキュラムの対象を3～6歳児から**0～6歳児に拡大**
  - 校区ごとの「スタートカリキュラム」等を毎年度更新
  - 「市町幼児教育アドバイザー・園内リーダー養成研修」を実施
  - 県内大学と連携し、養成課程在籍の学生への講義等を実施

#### ②小中高大で連携した学びの推進

- 新・**地域の高校が探究学習・行事等で市町や小中学校との交流・連携を促進**
- 新・県内で活躍する地元OB等と交流する機会を充実【再】
  - 連携型中高一貫教育校の取組みを協議会で企画し実践

#### ③高め合い補完し合う学校間連携の推進

- SSH校やDXハイスクール等、各高校の特色ある学びを相互に普及
- 遠隔授業での合同授業や学校横断型の研究等の推進
- 高校間連携を促進するコーディネーターの配置

### 方針2 誰一人取り残されず、個性が尊重される学びの推進

#### (1)安心して学べる場の充実

##### ①子どもが行きたくなる学校づくり

- 子どもたちが分かりやすく楽しい授業づくりの推進
- 子どもの個性や可能性を伸ばし、成長を支える生徒指導を推進
- 「学習指導と生徒指導の一体化」を軸に、学校の「魅力」を向上
- 児童生徒との対話等を基にした授業・行事づくりを推進

##### ②子どもの多様な居場所づくり

- 拡・「**校内サポートルーム**」の設置**拡充**と取組みの充実
  - 校内カフェやこども食堂など、多様な居場所づくりを推進
  - 県内の民間フリースクールとの連携強化

##### ③子どもが悩みを相談でき、周りが子どもの悩みに気付ける環境づくり

- 新・「心の健康観察」等を活用し、**子どもの心境や生活環境の変化を早期把握**
  - SC・SSWの配置や教員研修の充実
  - 24時間の電話相談や、長期休業明けの相談窓口の実施
  - スクールロイヤー等による法律相談体制を実施

##### ④いじめ・不登校等への対策の充実

- 学校・家庭・地域関係者が連携し、いじめの未然防止・早期発見等に向けて組織的に対応
- 弁護士等によるいじめ予防授業の実施
- 拡・児童相談所や警察、**医療・福祉機関**等が連携して、児童虐待の防止、不登校対策の充実に向けて組織的に対応

##### ⑤子どもの多様性に応じた環境づくり

- 外国人児童生徒への支援員配置や機器導入等を支援
- 県立高校で、日本語指導を要する外国人生徒等の特別入試を実施
- 新・**定時制・通信制高校で、個別最適な学びやキャリア教育を推進**
  - へき地・複式校・小規模校で、AI教材等の活用や合同授業により学びを充実
  - 経済的に困窮する生徒、病気療養児等への支援の充実
- 新・義務教育の学び直しの場として**県立夜間中学**を開設

# 第3章 教育振興基本計画(案) 概要③

## (2) 特別支援教育の推進

### ① 就学前から卒業後までの切れ目ない指導・支援の充実

- ・幼・保・こども園で、一人ひとりに対する就学先も含めた支援計画を作成
- 拡**・特別支援教育センター等による学校への巡回相談や**校種間の移行支援会議等による引継ぎの強化**
- ・保育カウンセラーが幼稚園等を巡回し、保育者や保護者に助言を実施

### ② 共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育の推進

- 新**・障がいのある子とない子の交流・共同学習を通し、**多様な障がいに対応する柔軟な教育課程の編成等による学校づくりを検討**
- ・障がいへの理解啓発に向けた出前授業等を実施
- ・小中高と特別支援学校の間での人事交流を推進

### ③ 特別支援学校における学びの充実

- ・技能検定等による職業スキルの向上や就労応援サポーター企業等と連携した就労支援
- 拡**・**全ての特別支援学校で、子どもの特性に応じた作品展示会開催等を行い、社会参加への意欲向上を支援**
- ・医療・福祉・ICT関連等の外部人材による専門研修を充実

### ④ 医療的ケアを必要とする子どもへの支援の充実

- 拡**・医療的ケア児の学校生活をサポートする看護職員の配置や**通学支援**
- ・看護職員・教員への研修等により、支援体制を強化

### ⑤ 小・中学校、高校における特別支援教育の充実

- 拡**・教員研修や**実践事例の共有等**により、特別支援教育担当教員の専門性を向上
- ・特別支援学校教諭免許状の認定講習の実施

## (3) 医療・福祉分野との連携強化

### ① 分野を横断した連携の推進

- ・SC・SSWの配置や教員研修の充実【再】
- 拡**・児童相談所や警察、医療・福祉機関等が連携して、児童虐待の防止、不登校対策の充実に向けて組織的に対応【再】

## 方針3 人生を楽しく豊かにする学びの推進

### (1) 生涯学習の振興

#### ① 生涯学習・社会教育の振興

- ・福井の先進技術や伝統技術等に直に触れる「ふるさと探究講座」を開催
- ・社会教育関係団体のSDGs活動の推進や交流の場の創出により、若い世代の地域づくりへの参加を促進
- ・学生を中心とした教育ボランティアや社会教育士の資格取得者の育成

#### ② 地域における学びの拠点の機能強化

- 新**・**電子図書やセルフ貸出機などを導入**し、県立図書館の利便性を向上
- ・各文化施設で、多様な県民の来館を促進する企画・展示を充実
- ・県・市町の文化施設が所有するデジタルデータを文書館が集約し発信

### (2) 文化芸術・スポーツ活動の充実

#### ① 持続可能な子どもの文化スポーツ活動の充実

- 拡**・地域クラブや指導者の確保等、**中学校部活動の地域移行を推進**
- ・トップレベルの選手育成を目的とした競技団体等によるクラブ設立を促進

#### ② 次世代の文化芸術・スポーツを担う人材育成

- ・文化芸術系の進路を目指す生徒へのキャリア講座、子どもの競技特性に沿った体験会等の実施
- ・ジュニアスポーツクラブの強化活動や環境整備等を支援
- 新**・文化財の保存・継承の機会を技術者の人材育成や魅力発信につなげる**「福井の文化財を未来へプロジェクト」を推進**

### (3) 家庭や地域と一体となった教育力の向上

#### ① 地域と一体となった教育活動の充実

- 拡**・地域住民による**学校運営支援員等の拡充**
- ・全公立学校が、家庭・地域・学校協議会等と連携して教育活動を充実
- ・放課後子ども教室や放課後児童クラブの運営を支援

#### ② 家庭教育に関する支援の充実

- ・生活習慣の改善・定着に向けて、家庭教育の重要性を啓発
- ・子育て経験者や教員OB等による地域に根差した活動の促進

# 第3章 教育振興基本計画(案) 概要④

## 方針4 基本となる環境づくり

### (1)「ふくいの教育」の魅力発信

#### ①教職の魅力や、教員の創意工夫の発信

- 新・教員の創意工夫を顕彰する「**ふくい教育チャレンジアワード**」の創設
- 新・専任スタッフの配置等により、**教員や子どもの生き生きとした姿を発信**
  - ・授業名人の公開講座、教員志望者WEBセミナー等による魅力発信

### (2)教職員一人ひとりを大切にする「働き方改革」の推進

#### ①教員およびサポート人材の確保、新たな人材の活用

- 新・**小学校教科担任制**や**中学校における生徒指導担当教師**等の配置
- 新・**男性教員の育休取得促進および代替の人材確保**を推進
  - ・学校運営支援員や部活動指導員等の外部人材活用推進
- 新・**教員免許を持つが教職には従事していない人材**など、新たな人材を確保

#### ②学校現場における業務の適正化・効率化

- ・学校行事の精選などによるさらなる業務削減
- ・校務支援システム導入促進など、校務DXを推進
- 新・生産性向上など、**企業経営の視点を学校の運営に活用**
  - ・研修や学校調査、PTA活動内容等を吟味し負担を軽減

#### ③個々の教員に負担や責任が集中しない組織づくり

- 新・複数で子どもを見守る**チーム担任制**の推進【再】
- 新・校長・教頭のサポート強化など、**チームマネジメントの推進**
  - ・いじめ・不登校等の課題にチーム学校で対応
  - ・勤務形態に合わせた柔軟な働き方の推進

#### ④教職員の資質・能力の向上

- 新・新たな教育の知見を広げる**管理職向け学校改革研修**の実施
  - ・県の教育課題や最新の教育動向等に応じた教員研修の実施
  - ・教職大学院への教員派遣等、県内大学と連携
  - ・国の研修の自主的受講を促進し「学び続ける教員」を育成

#### ⑤サービス規律の確保の徹底

- 拡・**全教職員対象の研修**等により、サービス規律の確保を徹底

### (3)特色のある魅力的な学校づくり

#### ①県立高校における学びの特色化

- ・SSH指定校、DXハイスクール採択校、マイスター・ハイスクール拠点校等で特色ある人材育成を推進
- 拡・産業教育フェアの拡充など、**小中学校に対し職業系高校の魅力発信を強化**
  - ・生徒の適正や志望等に応じたキャリアを支援する進学支援体制を充実
- 新・普通科高校が市町と協力して地域の拠点校としての魅力を向上【再】
- 新・定時制・通信制高校で個別最適な学びやキャリア教育を推進【再】

#### ②私学の振興

- ・学校経営の健全化に向けた運営を支援
- ・私立高校の魅力ある学校づくりや地元進学・就職に向けた取組みを支援
- ・高校授業料の無償化など、経済的負担を軽減する支援を実施

#### ③教育DXのさらなる推進

- 新・授業用・自学用ソフトの積極活用による「**学びの改革**」を推進【再】
- 新・小中高における**タブレット端末更新など、ICT環境を充実**
- 拡・県立学校等の**情報ネットワーク環境の拡張や円滑化を推進**
  - ・生成AI等の利用環境を整備するとともに実践的な活用を推進
  - ・学校教育DX推進協議会を通じ、市町と連携して教育DXの課題解決を推進
  - ・学校DX戦略アドバイザーの支援を受け、ICT活用や教員の意識改革を推進

#### ④時代に合わせた学校経営の推進

- 新・**全ての県立高校のメイン体育館に空調を設置**
  - ・県立学校の洋式トイレ化、バリアフリー化、省エネ化等を計画的に推進
  - ・長寿命化計画を踏まえたリノベーションの実施
  - ・学校・家庭・地域が連携した交通安全の推進
  - ・地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育や避難訓練の実施
  - ・教員加配や通学支援など、市町における学校統合等を支援
  - ・遠隔授業やAI教材の活用等により、小規模な県立高校の学びを充実